

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 西村麻友子
論文審査委員	主査 八田光世 印
	副査 森田浩光 印
	副査 梅津桂子 印
論文題目	Inhibition of compound action potentials in the frog sciatic nerve by inchinkoto, a traditional Japanese medicine used for oral mucositis
(論文審査結果の要旨)	
<p>口腔粘膜炎は激しい痛みを生じることがあり、患者の QOL 低下をもたらす。口腔粘膜炎の治療に漢方薬が使用されることがあるが、多くの薬物では薬理作用・作用機序の詳細が明らかではない。本研究論文は、8 種類の漢方薬（茵陳蒿湯、半夏瀉心湯、白虎加人参湯、補中益気湯、十全大補湯、黄連解毒湯、黄連湯、小柴胡湯）について、カエル坐骨神経の複合活動電位（CAP）に及ぼす影響を調べたものである。茵陳蒿湯、半夏瀉心湯、補中益気湯、十全大補湯、小柴胡湯が CAP を有意に減少させ、さらに茵陳蒿湯が CAP 振幅を最も大きく減少させることを明らかにした。茵陳蒿湯を構成する生薬のうち茵陳蒿が CAP 抑制作用を示し、さらに山梔子との併用により相乗的な効果が現れることを見出した。また、茵陳蒿に含まれている主要な 7 種類の化学物質を調べたところ、オイゲノールにおいて CAP 抑制作用が確認された。</p> <p>論文提出者は、論文審査において研究の背景・目的、方法、結果・考察を明確に示し、質疑に対して的確に回答した。本研究は漢方薬の薬理作用・作用機序の理解および疼痛治療への応用につながる興味深い知見であり、今後のさらなる展開を大いに期待させるものであった。以上より、本研究論文を学位申請論文として適格であると評価し、審査結果を合格と判定した。</p>	